

## 1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

## 2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・保育内容をより具現化し、職員全員が同じレベルで保育が進めていけるようにする。
- ・保護者に対して保育内容がわかりやすく伝えられるようにする。

## 3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	保育内容の再検討を行い、内容の具現化を図るとともに、実践報告のなかで深く理解が持てるようにした。
保育のあり方、 幼児への対応について	子ども一人ひとりに寄り添った保育ができるように心がけたことで、充実した幼稚園生活を送っている姿が見受けられる。
保護者への対応について	日々の報告わかりやすく伝え、保育の見える化を進めることで、保護者が安心して子どもを預ける事ができるようにして。
開かれた幼稚園づくり について	未就園児保育の内容の充実を図り、期待を持って参加できるようにした。
研修と研究について	研修内容の見直しを行い、職員一人ひとりが、必要とする研修を行い、実践できているかの振り返りを日々行うことで、保育の充実が図れた。

## 4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

職員全員が取り組むべき課題に向かい実際の保育に表れているが、より一層の確実性への取り組みを園全体で更に効果的なものになりたい。

## 5・学校関係者評価

今年度の取り組みについては、良好な運営状態であり、自己評価も積極的に行っているとの意見を頂いた。

